



日本プライマリ・ケア連合学会
東北ブロック支部 活動報告

発行人
支部長 矢島 恭一 (上田診療所)
事務局
〒999-8162 山形県酒田市上野曾根字上中割 73
TEL 0234-27-3306 FAX 0234-27-3308
mail:k-yajima@sea.plala.or.jp

ニュースレター No. 7 (2014. 9)

第4回 日本プライマリ・ケア連合学会 東北ブロック支部学術集会

日時：2014年9月6日(土)～7日(日)

場所：秋田大学医学部附属病院 第2病棟2階 多目的室

対象：地域包括ケアにかかわるすべての医療・福祉関係者

(医師・歯科医師・薬剤師・看護師・保健師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・歯科衛生士・
栄養士・ケアマネージャー・社会福祉士・介護福祉士・ヘルパー・行政・学生)

テーマ 『みんなで進めよう！東北の地域包括ケアを！』

—多職種連携教育 (Interprofessional education) から
職種を超えた連携教育 (Transprofessional education) へ—

東北ブロック支部長：矢島 恭一 (医療法人 宏友会上田診療所 所長)

学術集会長：長谷川 仁志 (秋田大学大学院医学系研究科 医学教育学講座 教授)

共催：あきた医師総合支援センター

後援：秋田県、秋田県医師会、秋田県歯科医師会、秋田県薬剤師会、秋田県看護協会、秋田県病院協会、秋田県社会福祉協議会、秋田県老人福祉施設協議会、秋田県地域包括・在宅支援センター協議会、秋田県病院薬剤師会、秋田県理学療法士会、秋田県作業療法士会、秋田県栄養士会、日本赤十字秋田看護大学

【参加費】 医師・歯科医師・薬剤師：2000円 他の職種：無料
【情報交換会費】 医師・歯科医師・薬剤師：5000円 他の職種・研修医：3000円
学生：1000円

(できるだけお釣りのないようご準備お願いいたします。)

【単位】 日本プライマリ・ケア連合学会専門医・認定医更新 6日：5単位、7日：3単位
日本プライマリ・ケア連合学会認定薬剤師研修認定単位 6日：4単位、7日：2単位
日本医師会生涯教育制度履修単位 6日：5単位、6日：3単位

9月6日(土曜日) 9時30分～13時00分 (完全予約制)

地域包括ケアに必要な病歴・フィジカルアセスメントのエッセンス」
(医療従事者のためのシミュレーターを使った実践セミナーです。)

コースと対象：コース1. 看護師 (担当：安藤 秀明、佐々木京子、高山 賢路)

コース2. 薬剤師 (担当：長谷川仁志、大嶋 重敏、守時 由起)

コース3. 介護・福祉関係者 (担当：中村 順子、小松 順子)

(定員各20名 まで 総計60名まで先着順)

1 : 9時30分～10時00分 (会場：附属病院第2病棟2階 多目的室)

*全体で聴講

特別講演

演者 寺澤 秀一 (福井大学 地域医療推進学講座教授)

「すべての医療者が共有しておくべき主要症状に対する
病歴・フィジカルアセスメントの基本ポイント」

2 : 10時10分～13時00分 (会場：シミュレーション教育センター)

*各職種に分かれて

「地域包括ケアに必要な病歴・フィジカルアセスメントのエッセンス」

9月6日 (土曜日) 14時00分～17時50分 (附属病院第2病棟2階 多目的室)

●開会式 14時00分～

●基調講演 14時20分～14時50分

座長 長谷川仁志 (秋田大学 医学教育学講座教授)

演者 丸山 泉 (日本プライマリ・ケア連合学会理事長)

「Facts に学び地域を診る」

●オープニング講演 14時50分～15時10分

演者 長谷川仁志 (秋田大学 医学教育学講座教授)

「地域包括ケアを充実するための各部門教育・研修改革」

－多職種連携教育 (Interprofessional education) から

職種を超えた連携教育 (Transprofessional education) へ－

●シンポジウム1. 15時20分～17時00分

「みんなで東北の実情に合った地域ケアの現状と課題を考える」

座長 廣川 誠 (秋田大学 総合診療・検査診断学講座教授)

桑原 直行 (秋田厚生医療センター 救急・総合診療部診療科長)

コメンテーター 坂戸慶一郎 (健生黒石診療所長)

菅家 智史 (福島県立医科大学 地域・家庭医療学講座助教)

市原 利晃 (秋田往診クリニック理事長)

- 1) 患者の立場から 工藤 恵子 (きぼうの虹・秋田県がん患者団体連絡協議会)
- 2) 介護支援専門員の立場から 綿貫 哲 (ひだまり居宅介護支援事業所)
- 3) 看護師の立場から 越後谷和美 (秋田厚生医療センター 退院支援室)
- 4) 地域包括センターの立場から 後藤 優子 (横手市健康福祉部 地域包括支援センター
在宅医療連携推進係)
- 5) 行政の立場から 伊藤 善信 (秋田県健康福祉部参事)
- 6) 薬剤師の立場から 齋藤 淳 (株式会社ピー・アンド・エス 在宅医療連携室室長)
- 7) 地域医師会の立場から 伊藤 伸一 (由利本荘市医師会理事・秋田県医師会常任理事)

●特別講演 17時00分～17時50分

座長 安藤 秀明 (秋田大学 臨床看護学教授、緩和ケアセンター長)

演者 的場 元弘 (青森県立中央病院 がん診療センター緩和医療科部長)

「声なき痛みのスクリーニング～青森県立中央病院 SPARCS の取り組み～」

9月7日(日曜日) 9時00分～12時00分 (会場: 附属病院第2病棟2階 多目的室)

●全員参加型・事例検討会 9時00分～10時30分

「明日のケアに生かす ー多職種で考える事例検討会ー」

座長 安藤 秀明 (秋田大学 臨床看護学教授、緩和ケアセンター長)

中村 順子 (秋田大学 地域・老年看護学教授)

コメンテーター 千葉 大 (八戸市立市民病院 総合診療科)

星野 智祥 (坂総合病院 総合診療科長)

堀尾 朗子 (訪問看護ステーション幸)

菅原 牧子 (外旭川訪問看護ステーション)

加藤 甫 (スプリング調剤薬局)

綿貫 哲 (ひだまり居宅介護支援事業所)

●シンポジウム2. 10時40分～12時00分

「みんなで東北の実情に合った地域包括ケア充実のための教育・研修を考える」

座長 加藤 博之 (弘前大学 総合診療部教授)

齊藤 崇 (秋田厚生医療センター副院長、秋田県総合診療・家庭医研修センター長)

1) 大学教育と在宅医療 市原 利晃 (秋田往診クリニック理事長)

2) 総合診療部門と地域ケア 桑原 直行 (秋田厚生医療センター 救急・総合診療部診療科長)

3) 総合診療医の育成 齊藤 崇 (秋田厚生医療センター副院長、秋田県総合診療・家庭医
研修センター長)

4) 地域包括ケア・介護予防研修センターのこれから

中村 順子 (秋田大学 地域・老年看護学教授)

●一般演題 (終日ポスター掲示 2日間) (会場: 多目的室前、管理棟会議室 他)

●研修プログラム紹介 (終日ポスター掲示 2日間) (会場: 多目的室 前)

青森 4、岩手 3、秋田 1、宮城 4、山形 2、福島 2 合計 16施設予定